千鷲会だより

千　鷲　会
広報部作成

令和６年新春の集いで知った現状

２月１６日にグランテラス千歳で、正会員３０名と賛助会員１２名及び現役隊員２８名に売店会会長と副会長を加えた、７２名が参加して新春の集いが行われ、佐藤会長の挨拶に続いて、田中信隆第２航空団司令から千歳基地の現状を交えた挨拶があった。

その後、懇談になると「今、飛行隊の整備員は検査隊に行って、検査隊から飛行隊に行くんですよ」と話をする現役に、「何それ？それって！飛行隊からＡＰＧが居なくなったの？」とＯＢ達が驚き、また、「検査隊という名称は、実情に合わないよな」の疑問を口にする０Ｂも居たが、要するに検査隊が装備隊を凌ぐ大所帯になり、飛行隊はパイロットと管理要員だけの編成になったと理解した。更に其の後、武装幹部が廃止されて、装備隊の武器と照準器小隊は整備幹部が小隊長を務めている現状を、知ったOB達が目を白黒させ、「航空宇宙自衛隊への序章と深刻な募集難だ。宇宙作戦群が新編されたし、募集年齢が１８歳以上３３歳未満になった事からも解る」等の声もあった。

懇親が深まるにつれ、昭和の良き時代の武勇伝に花が咲き、此れに現役隊員達が目を白黒させて居た。

懇親会の終盤では景品等を賭けたジャンケン大会が気分を盛り上げて、最後は恒例となった大集合写真撮影で、和やかに懇親会を終えた。

なお、今回の懇親会から、ＱＲコードを利用した参加申し込みが可能となり、２６名の正会員が此の方法で参加申し込みをしてくれた。世知辛いが、経費と時間の観点からも今後は此の方法へシフトして行くのであろう。（広報部）

冬の海はこんな程度じゃないゾ！

２月２６日、雪が降る氷点下５℃の中、被訓練者３０名が水温２度の千歳川で、保命訓練を受けた。

救命浮舟を揺らして水を掛ける救難員が「冬の海はこんな程度じゃない」等と声をかけていた。

冬の日本海は波が荒い、オホーツクは流氷、太平洋は冷たい風が吹く、何れにしろ生き延びるのには大変である。（広報部）

奨学基金として５万円を寄付

２月１４日、千鷲会はボランティア活動の一環で、平成２１年度から続けられている奨学基金として５万円を、生活情報誌『ちゃんと』が取材する中、佐藤会長から品田雅俊副市長へ寄付した。

其の後の懇談では、ＱＣサークル活動の話題が副市長から持ち出され、其の手法は作戦の立案と同じであると、佐藤会長が説明して懇談を終えた。（広報部）

千鷲会定期総会

6月28日18時～18時30分
ベルクラッシックリアン

懇親会

6月28日19時～21時
ベルクラッシックリアン
会費：6000円
総会/懇親会申込QRコード